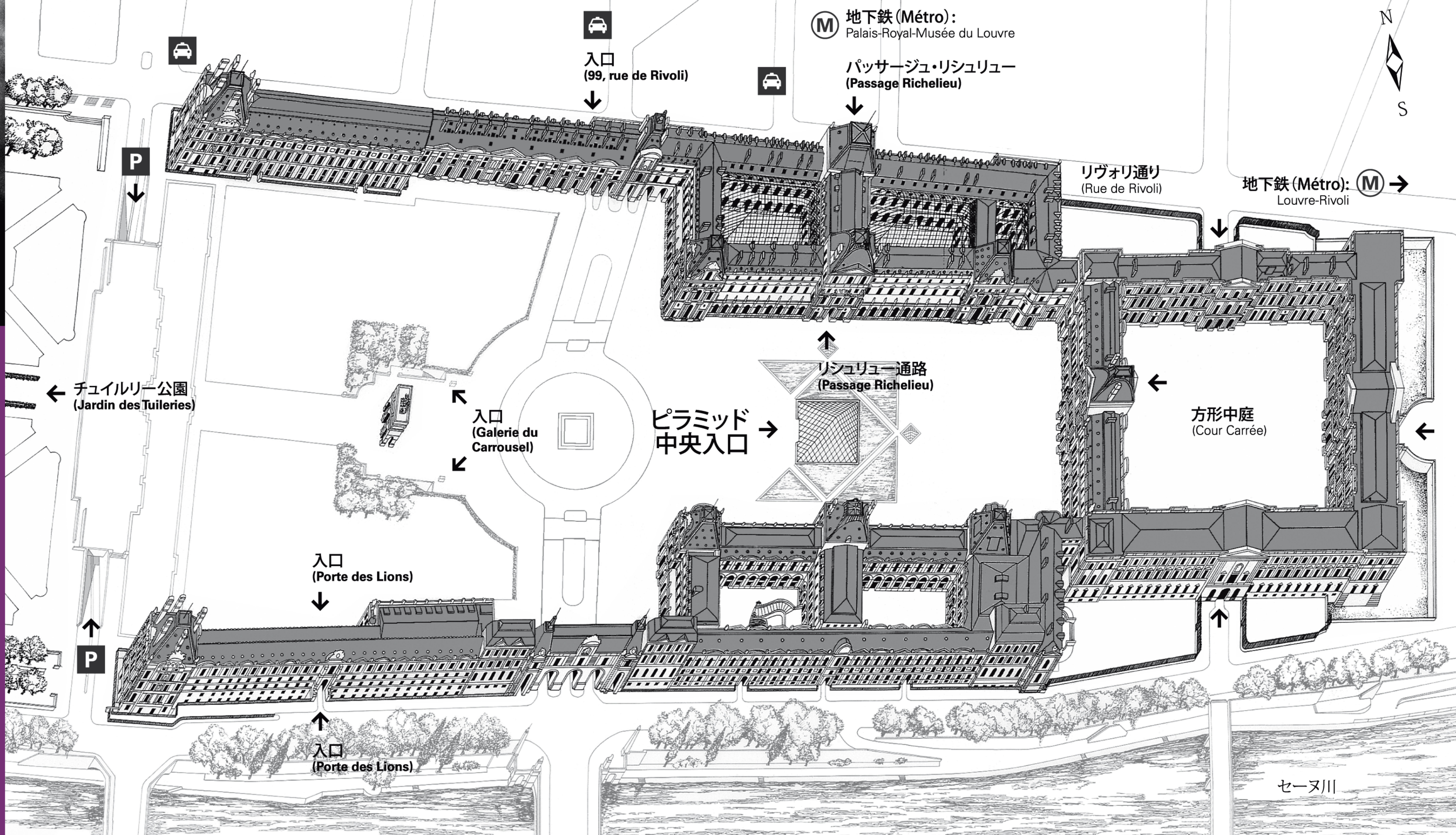


見取り図と館内のご案内
日本語版

LOUVRE



かつてはフランス国王の宮殿であったルーヴル美術館では、古代文明やイスラム美術、中世から1848年までの西洋美術など、幅広く豊かなコレクションを展示しています。

コレクション

古代オリエント美術

この部門では、紀元前7000年まで遡る近東の古代文明を紹介しています。これらの古代文明は、メソポタミアやイラン、さらに地中海沿岸地域からインドまでを含む「レヴァント」と呼ばれる広大な地域に継承されていきました。

ローマ帝国支配下の地中海オリエント美術

近東およびエジプトのローマコレクションは、ルーヴル美術館の3つの古代美術部門（古代オリエント美術部門、古代エジプト美術部門、古代ギリシア・エトルリア・ローマ美術部門）が所蔵していますが、ここではそれらと同じスペースに集めることにより、ローマ帝国の統治下において、ヘレニズムに影響を受けた人々の芸術や社会が進展していった様相を追うことができます。

素描・版画

10万点以上の作品を所蔵するデッサン室と、エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・コレクション、カルコグラフィの銅版コレクションで形成される素描・版画部門では、事前にお申し込みいただくと、作品をご覧いただくことができます。

素描・版画部門の閲覧室

お問合せ：00 33 (0)1 40 20 52 51

古代エジプト美術

ジャン＝フランソワ・シャンポリオンにより創設された古代エジプト美術部門では、2つの見学コースで作品をご鑑賞いただけます。1つは年代順、もう1つはテーマ別に、古代エジプト文明の様々な側面をご紹介します。さらに、コプト時代のエジプトとローマ支配時代のエジプトに充てられた2つのセクションが、展示をより豊かなものにしています。

古代ギリシア・エトルリア・ローマ美術

この部門では、ギリシア、エトルリア、ローマの3つの古代文明の作品を紹介しています。1階には、これらの古代文明の起源から、ローマ支配の5世紀までを、年代順で紹介する3つの見学コースがあります。2階では、ブロンズ、宝石類、銀製品、ガラス製品、人形、テラコッタ製の壺など、技法や素材による展示法を展開しています。

イスラム美術

この部門では、イスラム世界を構成していたスペインからインドに及ぶ広大な地域に由来する、7世紀から19世紀までの作品をご覧いただけます。部門のコレクションは、フランス王室のコレクションに由来する作品、19世紀後半からルーヴル美術館が新規取得した作品や蒐集家から寄贈された作品などで形成されています。また、装飾美術館のコレクションの一部も展示されています。陶製、金属製、木製の作品や、絨毯、宝石、漆喰細工、象牙、絵画作品など、多様な技法で表現された作品をご紹介します。

工芸品

この部門には、中世やルネサンス時代の作品、17世紀・18世紀の装飾美術、19世紀の王冠のダイヤモンド、工芸品や調度品、ナポレオン3世の居室など、あらゆる時代に制作された工芸品が集められています。

絵画

13世紀半ばから19世紀半ばまでのヨーロッパ絵画のコレクションを展示しています。

彫刻

中世前期から19世紀半ばまでのヨーロッパの彫刻作品を展示しています。

ルーヴルの歴史と中世のルーヴル

2つの展示室と考古学的見学コースにより、ルーヴル宮の建築の歴史をご紹介します。

アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ美術

2000年4月よりルーヴル美術館で紹介されているこれらの作品群は、現在ではケ・ブランリ美術館のコレクションの一部となっています。

その他



ウジェーヌ・ドラクロワ美術館

1857年12月にドラクロワが移り住んだアトリエ兼自宅が、ウジェーヌ・ドラクロワ美術館として公開されています。2004年よりルーヴル美術館の帰属となったこの美術館では、絵画、パステル画、デッサン、リトグラフの他、膨大な数の手紙・手記、思い出の品など、ドラクロワという画家にまつわるコレクションを集めています。1863年8月13日、ドラクロワはこの家で息を引き取りました。ここは、この偉大な芸術家の感性を肌で感じられる私的な空間でもあります。ドラクロワの希望で、庭が眺められるようアトリエには大きなガラス窓をはめ込み、庭に面したファサードは、古い時代の作品のムラージュで装飾されています。木下グループの支援により庭園の修繕が行われ、訪れた人々が静かにくつろげる場所となっています。

住所：6, rue de Fürstenberg 75006 Paris
ルーヴル美術館から600メートル（徒歩15分）
地下鉄（Métro）駅：Saint-Germain-des-Prés/Mabillon
入館の際は、ルーヴル美術館のチケットをご提示ください
お問合せ：00 33 (0)1 44 41 86 50
開館時間：火曜日を除く毎日（ただし1月1日、5月1日、12月25日は休館）
9時30分～17時（入館は16時30分まで）



チュイルリー公園

チュイルリー公園は、パリで最も広く最も古い公園です。宮殿から美術館へと姿を変えたルーヴルの歴史と密接に関係しています。ある時は個人の庭園、ある時は鑑賞用の庭園、戦時中は菜園として利用されるなど、幾多の変遷を経て、2005年にルーヴル美術館に帰属しました。造園芸術、景観、彫刻作品を誇るこの庭園は、歴代のフランス国王が造らせた壮大で豪華な宮殿の一部であり、自然に調和しています。気の向くままに散策を楽しみながら、歴史に想いを馳せましょう。グラン・クーベールの木立、装飾的な細工をあしらった鉄柵、ナポレオン3世の庭などたくさんの見どころがあり、新たに植えられた800本の樹木のほか、美しい芝生や花々が訪れた人々を楽しませてくれます。

フランス語による解説付無料見学
4月～10月の土・日曜日、15時30分（約1時間15分）
入園無料
お問合せ：00 33 (0)1 40 20 90 43
公園内には書店があります。
公園内では、様々な文化活動や催しが行われています。
また、休憩スペースも多くご用意しています。

ルーヴル美術館へのアクセス

住所

Musée du Louvre
75058 Paris Cedex 01 France
代表電話番号：00 33 (0)1 40 20 50 50

アクセス

- ピラミッド：中央入口
- ギャラリー・デュ・カルーゼル (Galerie du Carrousel)：リヴォリ通り99番地 (99, rue de Rivoli)
- パッサージュ・リシュリュエ (Passage Richelieu)：団体とすでにチケットをお持ちの個人見学者専用の入口。また、オーディトリウムへお越しの方も、ここからお入りいただけます。
- ポルト・デ・リオン入口 (Porte des Lions)：この入口の開閉日についてはお問い合わせください。
お問合せ：00 33 (0)1 40 20 53 17

美術館の開館時間

火曜日と特定の祭日を除く毎日開館。

常設展

月・木・土・日：9時～18時（閉館開始は17時30分）
水・金（夜間開館日）：9時～21時45分（閉館開始は21時30分）
祝祭日は、夜間開館は行っておりません。

企画展

- ピラミッド下ナポレオン・ホールで開催される特別展：9時～18時、水・金曜日は21時45分まで。
- 常設展示エリアで開催される企画展：美術館の通常開館時間に準じます。

来館者受入スペース

- ピラミッド下：9時～19時30分（火曜日を除く）、水・金曜日は22時まで。
- ポルト・デ・リオン入口 (Porte des Lions)：この入口の開閉日についてはお問い合わせください。

i インフォメーション・カウンター

ピラミッドの下にあります。
お問合せ：00 33 (0)1 40 20 53 17



障害をお持ちの方の見学

お問い合わせ：00 33 (0)1 40 20 59 90
Eメール：handicap@louvre.fr

団体での見学

7名以上での見学は団体見学となり事前の予約が必要です。

- お問合せ：
- 団体見学：00 33 (0)1 40 20 57 60
 - 美術館解説員付きの団体見学：00 33 (0)1 40 20 51 77

来館者の皆様へのお知らせ

展示室の開閉を記載した週間スケジュールは、インフォメーション・カウンター、またはルーヴルのウェブサイト (www.louvre.fr) で確認できます。

観覧料

チケット

当日に限り一日有効です。販売終了時間は17時15分、水・金曜日は21時15分です。
常設展：12€
ナポレオン・ホール特別展：13€
共通チケット：16€
(常設展+ナポレオン・ホール特別展)



無料観覧

18歳未満、失業者、障害をお持ちの方およびその付き添いの方（証明書をご提示ください）。ナポレオン・ホール特別展を除き、現職の教員（有効期限内の「エデュケーション・パス」をご提示ください）と26歳未満の欧州経済領域（EEA）在住者。

無料観覧についてのお問合せ：

00 33 (0)1 40 20 53 17

パリ・ミュージアム・パス (Paris Museum Pass)

有効期間2日、4日、6日間の3種類。パリ市内とパリ周辺の約60の美術館や博物館、歴史的建造物に入場できます。

ピラミッド下「Allée du Grand-Louvre」通路にある加入受付センター (Espace adhésion) でお求めいただけます。受付時間は9時～17時。夜間開館日は21時まで。

チケットの事前購入

チケットを事前にご購入されると、お好きな日に、ピラミッド中央入口の専用レーン（すでにチケットをお持ちの方のための列）からご入館いただけます。

館内のサービスと文化活動



無料のサービス

クローク、手荷物一時預かり所のご利用、車椅子、ベビーカー、抱っこひもの貸出し、遺失物保管所など。

見学用の無料パンフレット

様々な見学コースを掲載した小冊子やパンフレットなどを、インフォメーション・カウンターにご用意しています。（仏・英語のみ）



ルーヴルでの文化活動

- 解説員付き見学、子どもと大人のためのワークショップなど。

お問合せ・お申込み：

00 33 (0)1 40 20 51 77

- オーディトリウムでの催し：

お問合せ：00 33 (0)1 40 20 55 55

ご予約：00 33 (0)1 40 20 55 00

書店、売店、カルコグラフィー工房

美術書、ガイド、カタログ、レプリカなど。

オーディオガイド

- Audioguide Louvre - Nintendo 3DS XL

見たい作品、見学したいコースを選択できます。使用可能言語：仏語、英語、独語、スペイン語、イタリア語、日本語、韓国語

- モバイルアプリ

iPhoneとAndroid向けのアプリについては、ルーヴルのウェブサイト (www.louvre.fr) をご覧ください。



レストラン、カフェ

- カフェ/レストラン/サロン・ド・テ
- カフェテリア
- サンドイッチ、テイクアウト

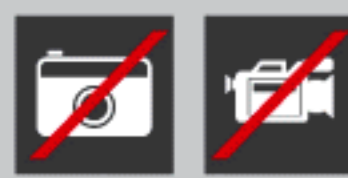
見学の規則



美術館内では、見学の規則を守ってください。

大切な文化遺産である展示作品の保護と、すべての皆様の快適な見学にご協力ください。

企画展会場での注意





安全対策に関するお知らせ (盗難被害に遭わないために)

.....

美術館の来訪者の中にスリが紛れ込んでいる可能性があります。

スリは人混みの中に潜んでおり、美術品を鑑賞している時または美術品を撮影している時等、来訪者の隙に乗じて行動します。

.....

次のことをお守りください：

- ・ バッグ類はきちんと閉じ、体の前面で抱えてください
- ・ 他人にむやみに現金を見せないでください
- ・ 現金は衣服の内側またはバッグの内側等の数か所に分散してお持ちください
- ・ ズボンの後ろポケットに財布を入れないでください
- ・ 自動販売機の付近の知らない人達の言うことは、無視してください
- ・ 写真撮影時は、バッグやポケット等に注意してください
- ・ 何らかの問題が生じた場合には、監視員に助けを求めてください

.....

この情報を読んでいたいただきありがとうございます。

思い出深い鑑賞となりますように。

-2 ピラミッド下 ナポレオン・ホール (Hall Napoléon)

コレクションへのアクセス

ドゥノン翼 (Denon)

- イスラム美術
- ローマ帝国支配下の地中海オリエント美術
- イタリア・スペイン絵画
- 19世紀のフランス絵画
- イギリス絵画
- アポロンのギャラリー、王冠のダイヤモンド
- イタリア・スペイン・北方彫刻
- ギリシア・エトルリア・ローマ美術
- エジプトのコプト美術
- アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ美術

リシュリュー翼 (Richelieu)

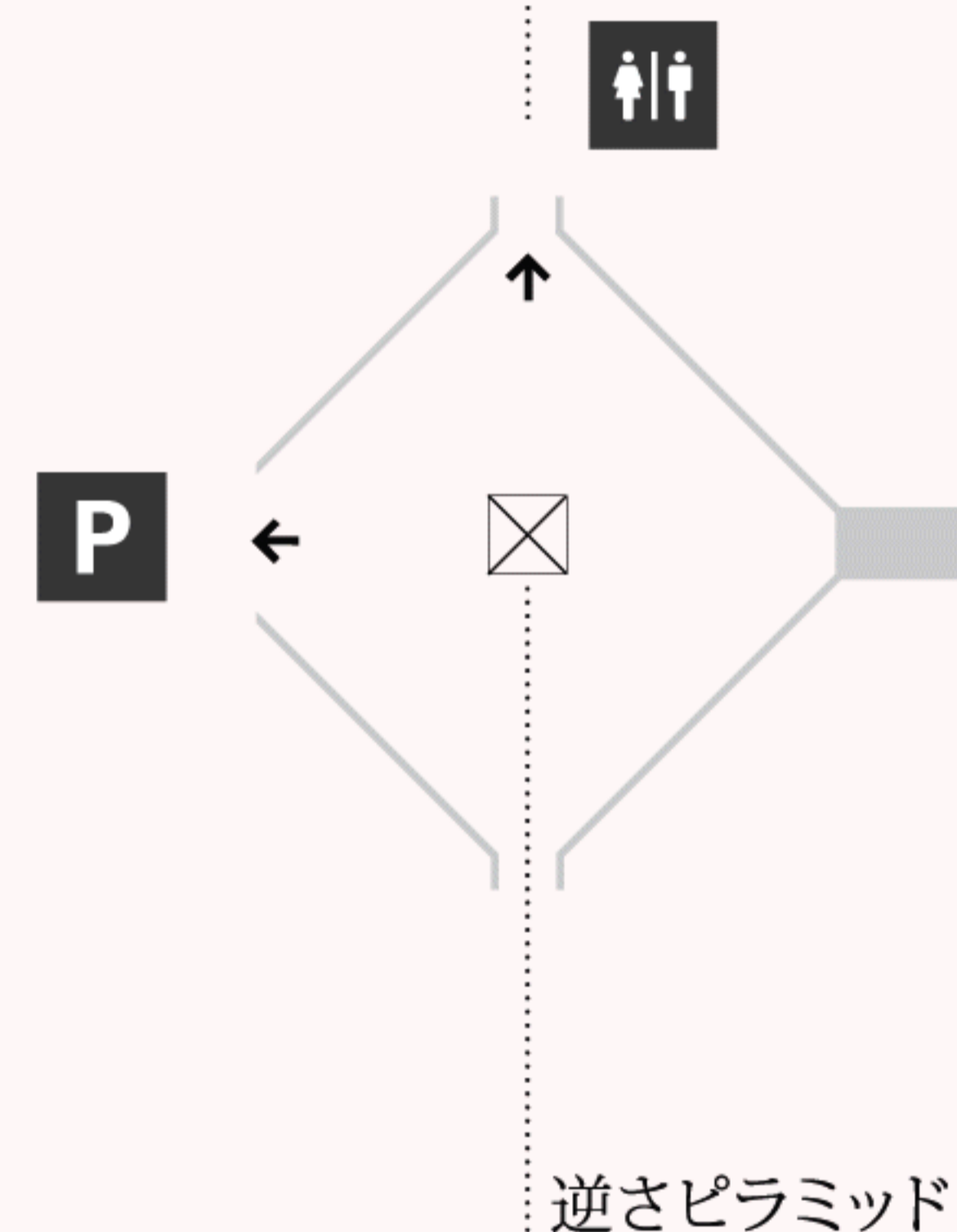
- 14～17世紀のフランス絵画
- ドイツ・フランドル・オランダ・北方絵画
- 中世、ルネサンス、17・19世紀の工芸品
- ナポレオン3世の居室
- フランス彫刻
- メソポタミア・古代イラン美術

シュリー翼 (Sully)

- 17～19世紀のフランス絵画
- 17～19世紀の素描・パステル画
- 17～18世紀の工芸品
- ギリシア・エトルリア・ローマ美術
- ファラオ時代のエジプト美術
- 古代イラン・アラビア・レヴァント美術
- ルーヴルの歴史、中世のルーヴル

地下鉄 (Métro) (M)
Palais-Royal /
musée du Louvre

ショッピングモール
へのアクセス

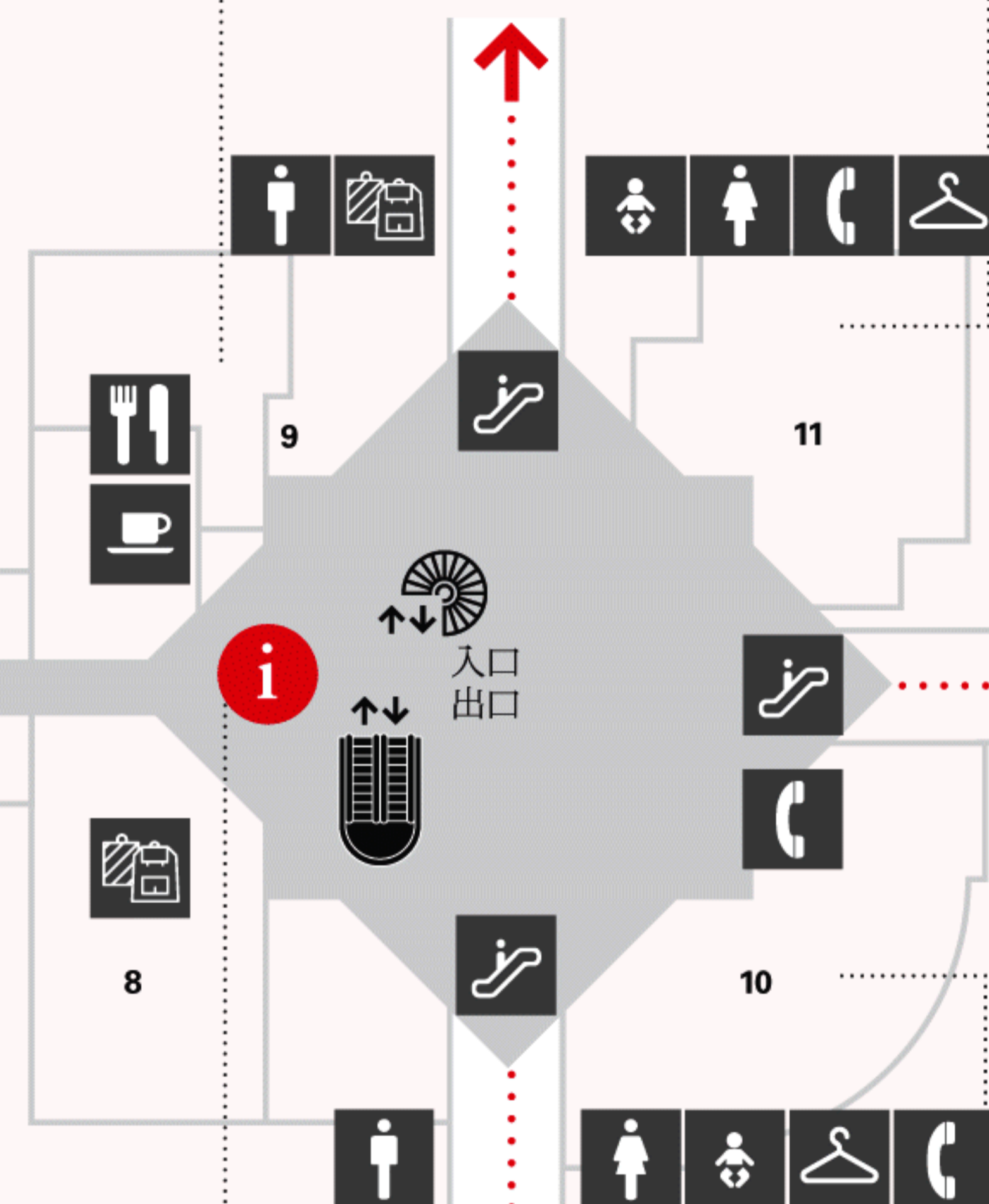


- 1 加入受付センター
- 2 郵便局
- 3 ミュージアムショップ

- 4 ドキュメンテーション・カフェ
- 5 チケットサービスエリア
- 6 ルーヴル友の会
- 7 子供向けミュージアムショップ
- 8 書店

- 9 オーディオビジュアル・
ルーム
ルーヴル美術館関連の
映像を放映
無料

リシュリュー翼 (Richelieu)



ドゥノン翼 (Denon)

10 団体受付
見学団体と個人の文化活動の
受付スペース

- 11 オーディトリウム (420席)

シュリー翼 (Sully)

特別企画展示室
ナポレオン・ホール



Conception graphique: Atelier Takavoir / B. Pell / musée du Louvre.
Conseil artistique: P. Bernard.
Dessin de couverture: G. Nicot, architecte en chef, conservateur du
Domaine national du Louvre et des Tuileries.
Coordination: A. Giroux, musée du Louvre. Impression: 06/2014.

Crédits photographiques (p.)
Couverture du Trimestriel : ©Musée du Louvre (MdL), dist. RMN /Erich Lessing.
Niveau -2 : ©MdL, dist. RMN /Antoine Mongodin
Niveau -1 : p. A : ©MdL, dist. RMN / Etienne Revault ; p. B : ©MdL, dist. RMN / Pierre Philibert ; p. C : ©MdL, dist. RMN / Pierre Philibert ; p. D : ©MdL, dist. RMN /Hughes Dubois ; p. E : ©MdL, dist. RMN /G. Poncet ; p. F : ©MdL, dist. RMN /G. Poncet.
Niveau 0 : p. A : ©RMN/Franck Raux ; p. B : © MdL, dist. RMN /Christian Décamps ; p. C : ©RMN/Hervé Lewandowski ; p. D : ©RMN/Jean-Gilles Berizzi ; p. E : ©MdL, dist. RMN /Pierre Philibert ; p. F : ©Musée du Quai Branly/Hughes Dubois.
Niveau 1 : p. A : ©MdL, dist. RMN /Etienne Revault p. B : ©MdL, dist. RMN / Georges Poncet ; p. C : ©MdL, dist. RMN /Daniel Lebé et Carine Deambrosi ; p. D : ©MdL, dist. RMN /Erich Lessing ; p. E : ©MdL, dist. RMN /Angèle Dequier ; p. F : ©MdL, dist. RMN /Erich Lessing.
Niveau 2 : p.s A : ©MdL, dist. RMN /Angèle Dequier ; p. B : ©MdL, dist. RMN /Erich Lessing ; p. C : ©MdL, dist. RMN /Erich Lessing ; p. D : ©MdL, dist. RMN /Angèle Dequier ; p. E : ©MdL, dist. RMN /Angèle Dequier ; p. F : ©MdL, dist. RMN /Angèle Dequier.

ルーヴル美術館は、リシュリュー翼、シュリー翼、ドゥノン翼の3つの翼棟で構成されており、複数階にわたって多くの展示室があります。


館内では、見学の補助としての様々な工夫が施されています。


8つの美術部門は、それぞれの色で識別できます。また、全ての展示室には番号がついています。色と番号は、お手持ちの「見取り図と館内のご案内」のほか、館内に設置された案内表示台や見学順路に設置されたパネルでも見るすることができます。


様々なサービスについては、「ピクトグラム」と呼ばれる絵記号でわかりやすく表示されています。ご質問やご案内は、監視員やスタッフにお気軽におたずね下さい。


快適な見学をお楽しみください。


コレクション：


 古代オリエント美術


 古代エジプト美術

 古代ギリシア・エトルリア・ローマ美術

 ローマ帝国支配下の地中海オリエント美術


 イスラム美術


 工芸品


 素描・版画


 彫刻

 絵画

 ルーヴルの歴史

 アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ美術

 中世のルーヴル

 エジプトのコプト美術

 企画展示室

サービス：



エレベーター



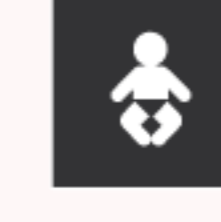
階段



エスカレーター



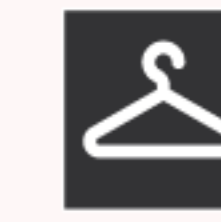
トイレ



オムツ交換台



オーディオガイド



クローク



レストラン



カフェ



インフォメーション

-1

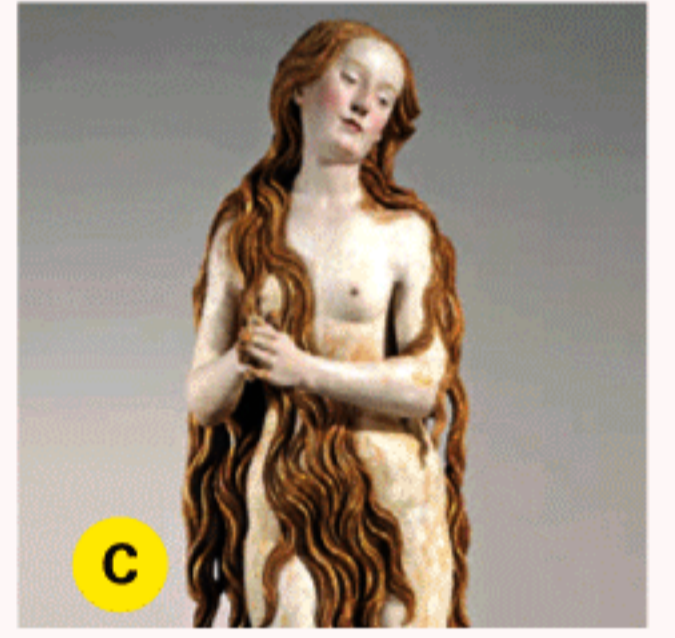
半地階 Entresol



《マルリーの馬》
ギヨーム・クストウ1世



中世のルーヴルの掘跡



《マダラのマリア》
グレゴール・エアハルト



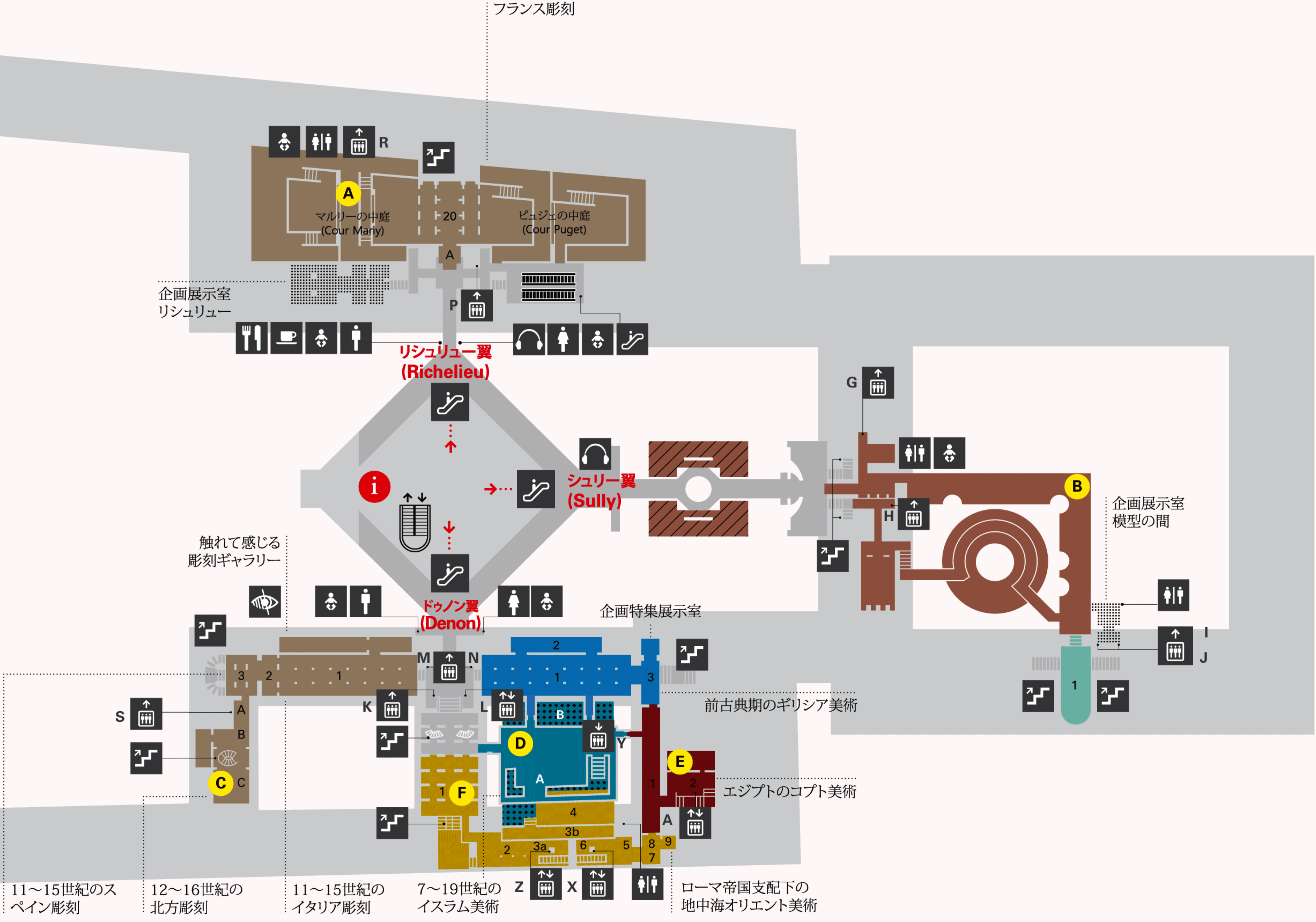
《聖ルイ王の洗礼盤》



《キリストとメナ司祭》



女性の肖像画



フランス彫刻

11~15世紀の
スペイン彫刻

12~16世紀の
北方彫刻

11~15世紀の
イタリア彫刻

7~19世紀の
イスラム美術

ローマ帝国支配下の
地中海オリエント美術

前古典期のギリシア美術

エジプトのコプト美術

触れて感じる
彫刻ギャラリー

企画展示室
模型の間

0 1階 Rez-de-chaussée

5～18世紀のフランス彫刻 18～19世紀のフランス彫刻 メソポタミア美術



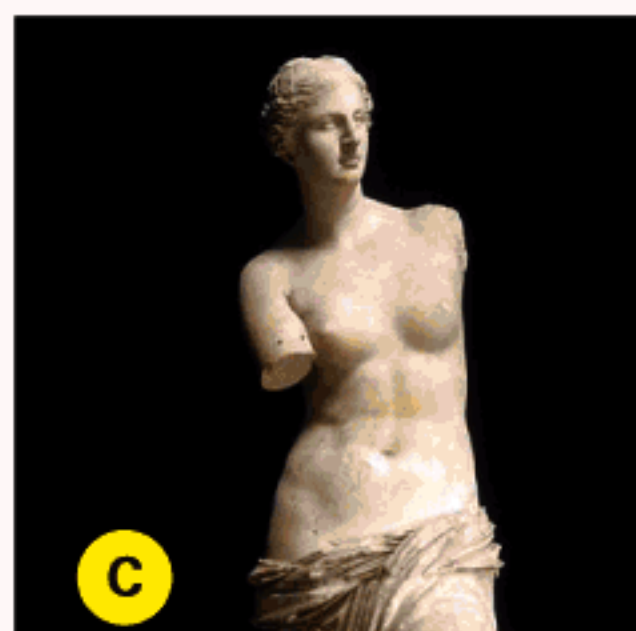
A

《ハンムラビ法典》



B

ラメセス2世の巨像



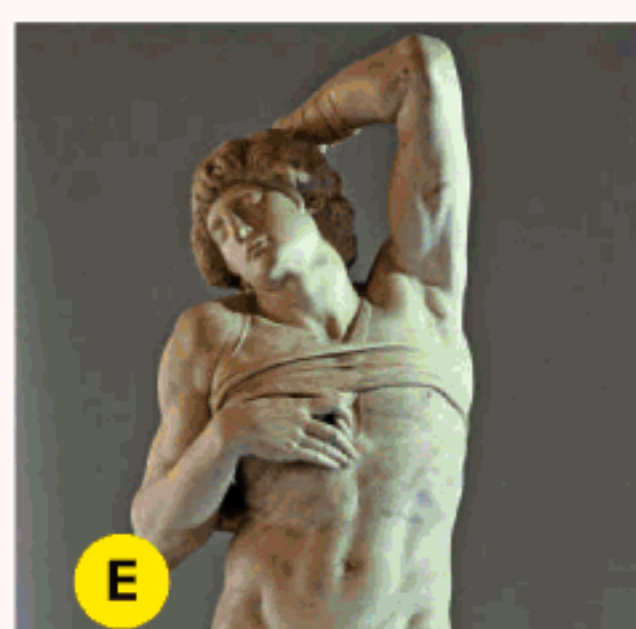
C

《アフロディーテ、
通称ミロのヴィーナス》



D

《アモルの接吻で蘇るプシュケ》
カノーヴァ



E

《瀕死の奴隷》
ミケランジェロ



F

チュピクアロ像
(メキシコ)



ポルト・デ・リオン入口 →
(Porte des Lions)

17～19世紀の
北方彫刻

16～19世紀のイタリア彫刻

古代エトルリア・ローマ美術

古代イラン美術

近東美術

近東美術

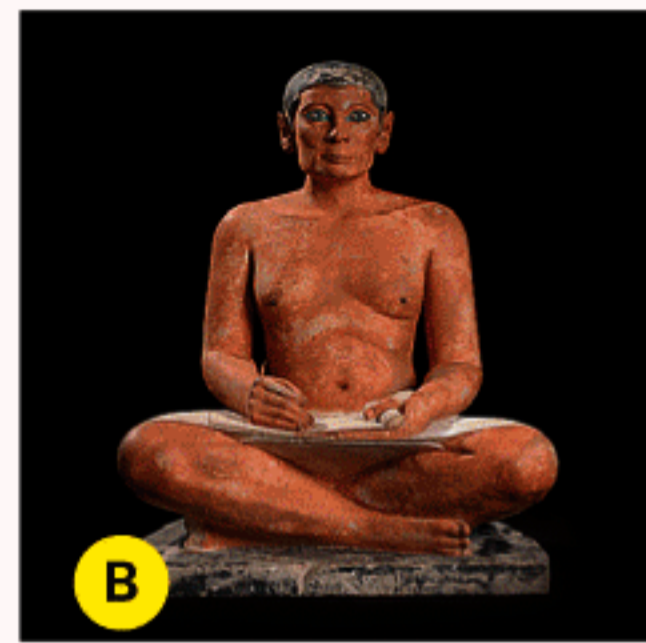
ファラオ時代のエジプト、
テーマ別見学コース

古代ギリシア美術

1階 1^{er} étage



A ナポレオン3世の居室



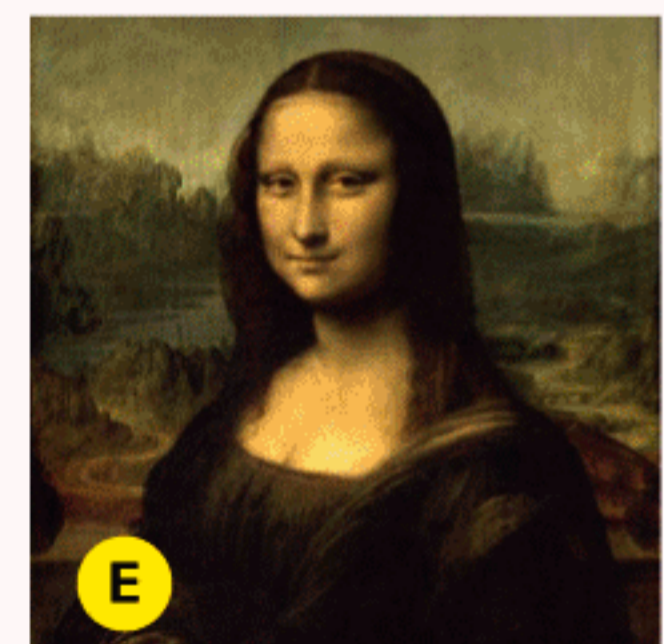
B 《書記座像》



C キリスト降架、ニコデモ、使徒ヨハネ、シナゴーグ



D 《ナポレオンの戴冠式》
ダヴィッド



E 《モナ・リザ》
レオナルド・ダ・ヴィンチ



F 《カナの婚礼》
ヴェロネーゼ

7月王政期の工芸品 王政復古期の工芸品 19世紀の工芸品 ルネサンス期の工芸品 17世紀の工芸品



原始美術へ

スペイン絵画

17~18世紀のイタリア絵画

16~17世紀のイタリア絵画

13~15世紀のイタリア絵画

アポロンのギャラリー

2

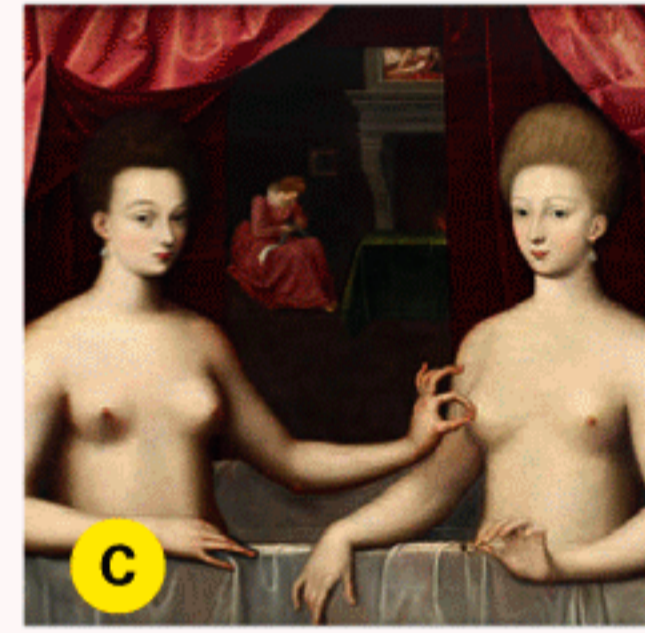
3階 2^e étage



《レースを編む女》
フェルメール



《自画像》
デューラー



《ガブリエル・DESTROIS
とその姉妹ビヤール公爵
夫人とみなされる肖像》



《宰相ロランの聖母》
ヤン・ファン・エイク



《いかさま師》
ド・ラ・トゥール



《トルコ風呂》
アンゲル

17世紀の
オランダ絵画

18~19世紀の
ドイツ絵画

17世紀の
フランドル絵画

16世紀の
オランダ絵画

15~16世紀の
ドイツ絵画

14~17世紀の
フランス絵画

17世紀のフランス絵画

18世紀の
フランス絵画

19世紀のフランス絵画





安全対策に関するお知らせ (盗難被害に遭わないために)

.....

美術館の来訪者の中にスリが紛れ込んでいる可能性があります。

スリは人混みの中に潜んでおり、美術品を鑑賞している時または美術品を撮影している時等、来訪者の隙に乗じて行動します。

.....

次のことをお守りください：

- ・ バッグ類はきちんと閉じ、体の前面で抱えてください
- ・ 他人にむやみに現金を見せないでください
- ・ 現金は衣服の内側またはバッグの内側等の数か所に分散してお持ちください
- ・ ズボンの後ろポケットに財布を入れないでください
- ・ 自動販売機の付近の知らない人達の言うことは、無視してください
- ・ 写真撮影時は、バッグやポケット等に注意してください
- ・ 何らかの問題が生じた場合には、監視員に助けを求めてください

.....

この情報を読んでいたいただきありがとうございます。

思い出深い鑑賞となりますように。